

Ⅳ.生活支援コーディネーターが行うべきアセスメントと支援の視点

1

1.生活支援コーディネーターの視点

○生活支援サービス・活動の主な対象者

- ・地域で暮らしている一人暮らし、あるいは日中一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦などで何らかの生活支援が必要な人達
- ・生活のしづらさを抱えている人々の多くは社会的孤立状態に置かれている

○生活支援コーディネーターの役割

- ・こうした人達が地域で自分らしく住民として尊厳がある暮らしができるように、主に非制度的サービス活動を活性化し調整し、生活を支援すること

○生活支援コーディネーターが生活支援サービスをどのように認識するかは、役割を果たす上で極めて重要

- ・生活支援サービスは、制度的サービスの不十分さを単に補完するというものではなく、制度的サービスでは対応出来ない、あるいは、なじまないサービスの提供や、人々と社会とのつながりを回復させるという、住民が助け合い・支え合いの理念に基づいて行ってきたサービスや活動を、より組織化し、制度的サービスと協働し、互いに補い合うことで安心した生活と、助け合う地域づくりを進める活動ととらえることが必要

(1) 生活の主体者である本人の意向、生き方を尊重する

- ・生活支援が必要な人の自立と尊厳が確保されることを目標に、生活の主体者である本人の選択、生き方を何よりも尊重することが必要
- ・そのためには、信頼関係づくりと本人の力を引き出す努力、適切な方法による十分な情報の提供が求められる
- ・本人の意向を大切にし、そこから生まれる意欲こそが地域生活維持の原動力であり、それを生活支援コーディネーターは寄り添い支援する

(2) 支援を受けながら自立した地域生活を維持する支援

- ・支援を受けなくなることを自立と捉えるのではなく、支援を受けつつ自立し地域生活を維持することを目指す
- ・「生活していく上で困っていること」を本人と一緒に考えて、支援を受けつつ自立することを支援する

(3) 社会参加、人とのつながり、生きがい、楽しみの支援

- ・社会参加、生きがいや楽しみ、ふれあいは尊厳ある生活の基本となる
- ・住民参加型の生活支援サービスを通じてふれあいが生まれ、高齢者の居場所づくり、生きがいにつながる

(4) 出番づくり、役割づくりの支援

- ・地域生活維持のためには、本人が生きようとする意欲が土台となる
- ・本人が社会関係を取り戻せるように、地域の中で居場所や役割を確保し参加できるように支援する
- ・支援を受けるだけでなく、支援を受ける人も種々の方法で地域に貢献できるよう、双方向性、互酬性を重視することが必要

2.生活支援コーディネーターの役割

(1)制度的サービスと非制度的サービス、活動とのつながりを良くする

- ・制度的サービスを提供する立場から住民参加型のサービスを活用するという一方的視点からでは住民活動との協働はうまく進まない
- ・住民の活動の基本は共感に基づく自発性にあり、専門職と住民活動との対等な関係づくりを進め、住民活動の立場に立ってコーディネートを行う

(2)生活支援を通しての地域づくり

- ・個別支援と地域へのアプローチを一体的に捉え進めることが大切
- ・日常の地域での生活は近隣や友人の自然な見守りや助け合いによって支えられている。お互いに支え合う地域の関係づくりが進めば、地域の福祉力が高まり、安心して住み続けられる地域づくりが進む

3.生活支援コーディネーターの視点で行うアセスメント

○生活支援ニーズの把握を行う前提として、地域に気づきや把握の仕組みづくりが必要

(1)気づき

近隣の人、友人、老人クラブの仲間が気づく、民生委員・児童委員等が気づいて、そこから相談につながる、気づく力を高める学習活動や、気づいたニーズを受け止める仕組みづくりが必要

(2)把握

本人に自覚がない場合、支援を拒否する場合もあるため、粘り強くアプローチし、周辺からも様子を把握する

(3) アセスメント

生活支援ニーズは本人が自覚していない場合が多い、
次のような視点を持つと把握しやすい

- ① 1日(24時間)、1ヶ月、1年、それぞれの期間の中で自分でできない困りごととは何か
- ② 制度的サービスで対応できていない困りごととは何か
- ③ 一時的なニーズ、即応が必要なニーズ、ごく短時間のニーズは何か、これらは、日常生活維持のためには必要不可欠であるが、制度的サービスが対応しにくいニーズ、住民活動・事業は対応しやすいニーズ
- ④ 人とのつながりや社会との関わりがあるか、役割があるか、生きがい、楽しみは何か
- ⑤ 本人の生き方、本人が今後どのように生活していきたいと考えているか

(4) 生活支援プラン作成

- ① 制度的なサービスとして提供されているサービスの確認
- ② 制度的なサービスでは対応されていないが、地域生活を支える上で必要なサービスは何か
- ③ 人とのつながりをどう作るか、社会参加をどう進めるかの検討
- ④ 本人の地域での生活を見守り、支援する仕組みづくりの検討